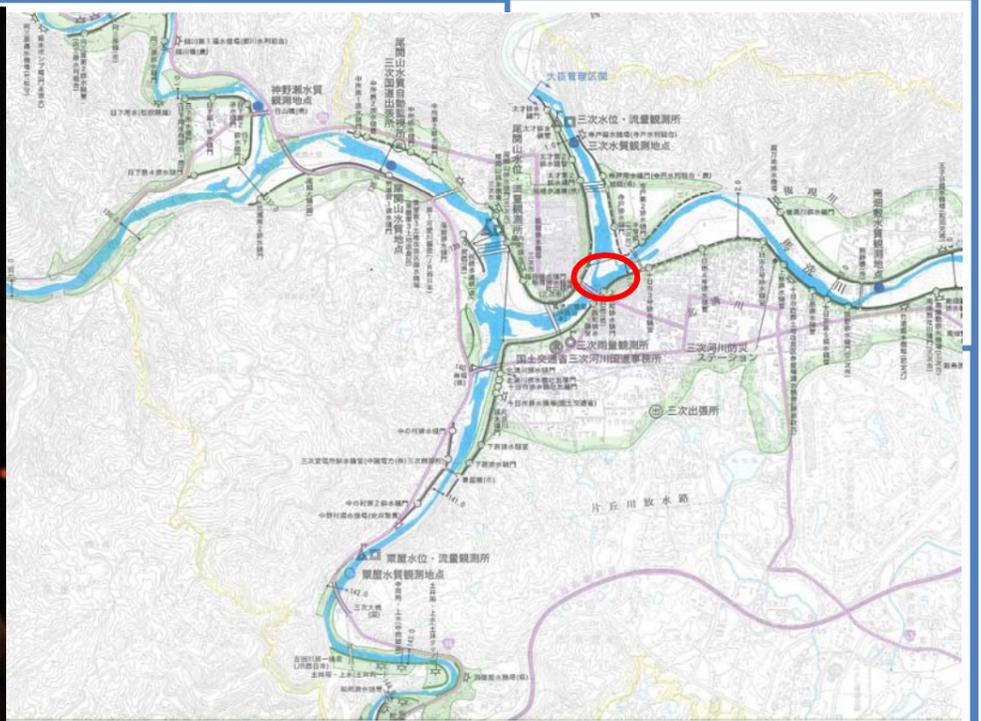


三次の鵜飼（広島県三次市）



国土交通省三次河川国道事務所



【水辺の楽しみ情報(川の自慢、見どころ 等)】

□日時:平成26年6月1日(日)～8月31日(日)(7/19・20は一般のご予約は承っておりません)

出船時刻19時45分。19時15分までには受付にお越しください。

□鵜飼乗船場所

三次市十日市親水公園内(馬洗川鵜飼乗船場)

□鵜飼

鵜飼は水に潜って魚を巧みに捕まえる鵜の習性を利用した漁法です。古くは「古事記」や「日本書紀」、「万葉集」に見ることができます。

三次では約450年の歴史があり、初代三次藩主「浅野長治」により鵜匠制度が整備されました。

三次の鵜飼の特徴は

- ・約7メートルの全国でも最も長い手縄を使用していること。
- ・一度に最大8羽の鵜を操ること。
- ・遊覧船が鵜舟と並走することで、間近に鵜飼の迫力を感じることができ

毎年、6月の最初の土曜日には「みよし鵜飼まつり」が行われる。小学生までを対象に鮎の手づかみや鵜匠が鵜飼を説明しながらの鵜飼実演も行われます。

□【ご予約】三次市観光協会 0824-63-9268

※遊覧船は予約制としております。



水辺のイベント情報

水辺のお店情報

水辺の遊び場情報

水辺の観光情報

水辺の癒しスポット情報

そのほかの水辺情報

【応募理由】

三次市は別名水の都と言われ、市内で三本の川が合流し、広島県に降る雨の3分の1が集まる地域と言われています。全国で11箇所しか行っていない鵜飼は、綺麗な水が流れ、環境も整っているからこそできます。鵜匠の舟と観光遊覧船が併走する三次の観光鵜飼は、実に素晴らしいと絶賛されています。この三次の鵜飼に是非、御乗船頂きたく応募しました。

【写真の情報(撮影場所、時期、時間 等)】

三次市十日市親水公園内(馬洗川鵜飼乗船場)
平成25年6月

【応募者】

一般社団法人 三次市観光協会